

平間わんぱく少年団

中山太鼓祭礼に参加し本物の伝統芸能を学ぶ

課題

①太鼓を練習している子どもたちが、本物（本場の祭りなど）を見る機会がない。

- ・川崎から遠い。
- ・公共交通機関で行けない場所。
- ・伝統芸能が消滅しつつある。

②ゲームが日常に蔓延する現在、子どもたちが「魅力的」と思うような伝統芸能を継承していくためのきっかけがほしい。

③日頃の練習の意欲を高め、舞台での発表で達成感を得て、活動を継続してほしい。

組織基盤強化助成金

岐阜県恵那市の「中山太鼓」に参加

マイクロバスで前日から宿泊
朝8時集合、宮入、祭り開始
少年団も輪に入れてもらい、太鼓に参加
一日かけての祭りにフル参加



成果

- 本物の伝統芸能を、現地でまるごと体験することができた。
- 現地のメンバーの打ち方を見て学ぶことができた。
- 帰ってきてから、写真記録による報告会を、行けなかった子たちに行った。



今後の課題

レパトリーを増やしたい。
現地の演奏に近づけたい。

伝統の継承・モチベーションアップ